

週報

国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに



Vol.42 第2074回例会

2009.4.30

今年度会長テーマ

(あい)に感謝 そして 実践しよう
ロータリーの志魂(こころ)

■司会：熊木例会運営委員



■会長報告

町田会長



■点鐘：町田会長

■合唱：ロータリーソング
「四つのテスト」◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：土方パスト会長



◆ゲスト：武蔵野分区 西村ガバナー補佐



先日は隅屋会員、五十嵐会員の傘寿の祝に多くの皆様に参加頂き嬉しく思っています。

さて、斗酒なお辞せずという言葉があります。これは一斗の酒を飲んでもまだ飲めるという意味ですが、この言葉は私自身の若きころの切なる願望でありました。ある会社に勤め始めた時、上司から酒も飲めないような人間は出世は覚束ない、といわれ同期の下戸二人で毎晩のように新橋の縄のれんをくぐって修行した。昭和42年の頃、家賃が4畳半4千5百円、給料が手取り2万円を下る位の頃でしたが全て飲み屋に奉仕した。これもロータリー精神がその頃から芽生えていたのかも知れません。しかし、飲めない酒を飲んで翌日、頭の痛い状態でよく会社に出勤した。そうした努力の甲斐もなく、自分はほとんど酒を飲めないし、今は持病のためにドクターストップがかかっている。人間社会においては古今東西、時代を問わず、祝い事、悲しみの場にも酒が重要な役割を果たしています。それが飲めないのであるから人生どれだけ損をしているのか判らない。「酒は百薬の長」と言われています。飲めないから、その分、自分の寿命を縮めているのかも知れない。酒は飲めば心配事を払い除くという「憂いの玉筆」ともいう言葉もあります。飲まなければその分フラストレーションの溜まる事になると思う。酒に酔って美女を口説いても許されるなら下戸は持てる機会まで逸するわけであります。浴びるほど飲めば一見豪放磊落で人物のスケールが大きく見えるから羨ましい

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／高橋 眞 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

限りである。大体、日本は酒飲み都合よく出来ているように見えます。意思の疎通にはノミネーションが一番などと理屈を立てて、酔って悪態をついても酒の上のことと言いつけが少しは通る。酒に酔って常軌を逸することをして、あるいは深酒で心身耗弱となれば罪を犯しても責任能力無しで無罪となる事もあるとか？どのくらいで心身耗弱になるかは突発性状況を除き本人は承知であろうから未必の故意ではあるまいとも思うのだが？只、近頃は飲酒運転にはだいぶ厳しくなったが、しかしまだまだ日本人は酒飲みには大いに寛大である事が不可解であります。最近、地デジの広告をしているスマップの草彅某が飲酒の上の行為で逮捕されたが謝罪をしたのだから許してあげべきだと当人を擁護する事を言っている人が多いと報道されている。罪は罪、罰は罰であるはずであります。本当に日本人は飲酒上のことには罪の意識が希薄であると感じる。誠に不可思議なことであります。

それにしてもタバコは2000年前から嗜好品として愛用されてきたと聞きます。最近の喫煙者に対しては犯罪者に等しい位、喫煙場所等を狭めている。なぜ飲酒には寛大で、喫煙には規制を強化しているのか、これも不可解であります。

ロータリーの倫理訓を復唱致します。

真実かどうか。

みんなに公平か。

好意と友情を深めるか。

皆のためになるかどうか。

この時期になりますと、会務報告はありません。

以上で会長あいさつといたします。

ありがとうございました。

■ 幹事報告

相羽幹事



■ 青少年交換委員会：
ジャパントアのお礼状の受理

■ 国際奉仕室：
地区オン・ツー・バーミンガム結団式の案内の受理
2009年6月5日(金)
18:00~20:00
於 ロイヤルパーク汐留タワーホテル

■ 回覧：「友」インターネット速報

■ 出席報告

吉川例会運営委員



在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
41	32	1	8	78.95

■ 前々回メイクアップ修正後前々会欠席：4名

■ 前々回出席率メイクアップ修正後：89.47%

■ 前々会メイクアップ者：

相羽会員：分区連絡会

木下会員：秋川RC

田中会員：武蔵村山RC

戸澤会員：分区連絡会

漆原会員：理事会

■ ニコニコBOX

肥沼クラブ管理委員



◆ 五十嵐会員：

先日の誕生日会、多くの皆様、ありがとうございました。

◆ 隅屋会員：先日の28日、神崎さん、當間さん、会員の皆さん80才の誕生日のお祝いありがとうございました。

◆ 日時会員：西村ガバナー補佐、本日はありがとうございます。

◆ 西村ガバナー補佐：
本日は卓話で大変お世話になります。

◆ 當麻会員：西村ガバナー補佐様、本日はよろしくお願ひします。

◆ 神崎会員、當間会員：
先日の五十嵐、隅屋両会員傘寿の祝の会に多くの出席を頂きありがとうございました。

◆ 樺澤会員：五十嵐さん、隅屋様おめでとうございます。白寿までよろしく。

- ◆町田会長：五十嵐さん、隅屋様おめでとうございます。
- ◆中丸会員：武蔵野分区ガバナー補佐、西村様本日はよろしくお願い致します。
- ◆漆原会員：西村さん本日の卓話楽しみにしていました。
- ◆戸澤会員：西村ガバナー補佐様ようこそ。卓話楽しみです。
- ◆野澤会員：公私共にお世話になっております。
- ◆田中会員：隅屋さん、五十嵐さん、80才祝う会楽しかったです。
- ◆隅屋会員、五十嵐会員、金子会員、石山会員、嶋田会員、山本会員、土方会員：写真ありがとうございます。
- ◆神崎会員：先日の隅屋・五十嵐先輩の祝いに多数ご参加頂きありがとうございます。

本日のニコニコ合計： 60,000円
 累 計：1,498,864円

■委員長報告

■高橋(眞)次年度幹事



次年度理事・委員長会議開催のお知らせについて
 2009年5月7日(木) 18:30～
 於 野老(ところ)
 所沢市久米410-9 042-924-1367
 いよいよ次年度(杵山丸)のスタートの準備に入りました。よろしくご協力お願い致します。

■樺澤直前会長



年史を製作するのにあたり、故河野会員の写真ございましたらお分け頂きたく思います。よろしくお願い致します。

■漆原社会奉仕委員長



昨日、米山奨学生とカウンセラーのオリエンテーションへ行って参りました。当クラブの奨学生、宋 慧珍(そん へじん)さん(女性)はとても真面目そうな方でした。次年度から一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

■野澤青少年交換委員長



櫻井ガバナー様より、スポンサークラブとして5万円の協力を頂きましてありがとうございました。無事終わることが出来ました。心より御礼申し上げます。尚、当クラブは再来年預かることとなっています。

■卓話

■卓話者紹介： 目時ガバナー補佐



■卓話者： 武蔵野分区ガバナー補佐 西村年博様



職業を通じての社会貢献

町田会長がお酒の話をしました。昔から「酒は百薬の長」、タバコは「百害あって一利なし」と言われています。私もお酒は大好きで、時として「百薬の長」ならずして害となる飲みかたをし反省します。お酒を殆ど飲まない方を下戸といい、お酒の好きな方を上戸と言います。笑い上戸、泣き上戸等いろいろですが…

その昔、中国秦の始皇帝が、万里の長城を守る兵士に、城の下の入り口(下戸)を守る兵には飴をやり、城の上を守る(上戸)兵は風が吹いて寒いのでお酒を与えたと言うことから、この言葉となったそうです。

余談はさておき、私の仕事の話を少し申し上げます。私共の警備保障会社は東京に978社あります。人数は警察官は東京に約45,000人。全国では約350,000人。そして私共の人数は東京に約70,000人、全国では約800,000人おります。警察と私共警備会社の違いは、皆さん「サツ」の「ガサ入れ」って何かわかりますか？これは捜査(さがす)を徒に読む警察の専門用語なのです。警察官の場合は礼状を持って家の中や外を捜査することが出来るのです。それに比べ私共の仕事は警備とって、守りを備える、という意味があるのです。従って警察官のように捜査することはできません。

さらに私共の仕事には四つの業態があります。

第一は建物(ビルや居宅)等の警備。

第二は銀行や公的機関の出入口の警備・チェックです。

第三は銀行や会社の現金輸送の業務です。

そして第四は要人等のボディガードの仕事です。現在私は、昭和64年に設立した日本ガード株式会社の会長として、また都及び全国の警備員教育の仕事をおおせつかっております。銀行さんが市民にお金を貸し出すとき、必ず担保を取ります。私共警備会社の担保は人材の育成なのです。複雑多岐にわたる社会状況に対応するため、各種の警備、高度な情報処理を任される、保障されるための値の高いガードマン教育は現代社会に欠くことは出来ません。

しかし、この教育というのは難しいですね。研修をしたからといって、すぐ答えが返ってくるものではありません。どれだけ知識を習得したか、どれだけ成長したか、形に現れてはきません。一方、労働の対価として得られるお金は単純です。パートさんが一週間仕事をすれば「ハイ〇〇〇〇円差し上げます。」この様にはっきり形に現れます。

教育には私は3つの分野があると思います。家庭では芽を出させ、それを教育が育て、そして社会に出て花を咲かせる。この様にそれぞれの役割があるはずですが。しかしながら現実はどうでしょう。この機能・役割がかなり崩れてしまっていますね。ですから教育の最も大切な脳を育てる知育、体を育てる体育、さらに最近では食文化の影響もあってか、食育なども取り入れられています。しかし私は何と言っても一番大切な徳育が欠けていると思います。もちろん企業人がお金を儲けることは決して悪いことではありません。しかしながら金儲けのためには倫理も道徳もそっちのけ、これはいかんですな。日本人の良さは、日本人の心、伝統文化なのです。よくお金は人の心を狂わす、と言われます。少しばかりお金が儲かると、美しい心や正義感まで、残念ながら無くしてしまうのです。この「儲」という字を見てください。人が言葉をしゃべって信用を得る、その者が儲ける。従って信用なき者は必ず倒産することになります。

日本の武道は礼に始まり、礼に終わるという儀式があります。試合が終わって礼をする時、勝った者は敗れた者に、あなたの技は素晴らしかった、と言って讃える。一方、負けた者は、私はまだまだ修行が足りませんでした、と言って相手を尊敬する。その物言わぬ心が、その一礼に込められているのです。相撲の朝青龍が過去に優勝の瞬間、両手を突き上げ勝どきを上げました。あの時どれだけ国民から響きをかかったことでしょうか。あれはいかんです。ましてや日本の国技ですから。礼節を欠くことは武道の世界では絶対に許されない行為です。朝青龍はこの技法を余り修行しないうちに、一気に頂点に登ってしまったからかも知れません。

さて、「私が思う職業奉仕について」であります。レジュメが適当で申し訳ありませんが、少し本論に入らせて頂きます。

ロータリーの中で「職業奉仕」は分かりにくいとよく耳にいたします。「職業奉仕」という言葉を辞典で引いてみましても、そのような熟語はございません。ただし、「職業倫理」という言葉の熟語はございます。

職業奉仕の私の捉え方としましては、現在社会問題となっている一部の経営者が自己中心的で拝金主義的な社会の企業モラルが欠落しているように強く感じます。特に昨今問題になっている「偽牛」「偽計」「偽装」「偽入札」などは昔から伝承してきた日本の「恥」という心の文化を置き忘れてしまったのではないのでしょうか。

一例を挙げますと、ミートホープの代表者はRCの会長を務めた人が偽牛・偽装に手を染めていたとは恐れ入りました。また、或るIT企業関連の不祥事や融資ファンド会社の代表者がマスコミの前で「お金儲けをして何が悪いのですか」と言っていました。決して「お金儲けが悪い」とは誰も申しはおりません。その方の企業倫理に問題があるのではないのでしょうか。

今から約270年位前に「二宮尊徳(金次郎)」は道徳なき商人(経営者)はいかなる商売もやってはならない!!と申したそうです。

「礼」に始まり「礼」に終わる日本特有の「思いやりの心」の文化はいずこへ行ったのでありましょうか？諺に「仏作って魂入れず」という立派な言葉がありますが、日本の美的文化「和魂洋才」の「心」で正当なビジネスをしてこそ職業の倫理が確立できるのではないかと思います。最後に私の思う職業奉仕は「自分の職業に愛情と誇りと責任」を持って、自己の職業を天職(=Vocation)と思い、爽やかに優しく楽しい思いやりの心でどなたにもお役にたつような奉仕する喜びの味わいを知ることが出来るよう頑張るのが理想であります。

■点鐘：町田会長